Nichibei Kaiwa Gakuin

Japanese Language Institute (JLI) since 1967

JLI Nichibei Kaiwa Gakuin Japanese Language Institute since 1967

日米会話学院　日本語研修所

レギュラープログラム　Regular Program

www.nichibei.ac.jp/jli

目次

日米会話学院
日本語研修所について 3

■日本語研修所の目的 3
■日本語研修所のプログラム・コース構成 3
■レギュラープログラムの特色 3

プログラム概要 4-6

■学　期 4
■レベル 4
■授業内容 5
■受講生の出身地域 6
■委託企業・団体 6

募集要項 7-14

■入学資格 7
■コースの選び方 7
■願書受付期間 7
■申込方法
●一般2年コース 8
●短期コース 12
■学　費 13

学生生活 15

■課外活動 15
■生活費 15
■健康相談 15

その他のプログラム 16

Table of Contents

About the Japanese Language Institute (JLI) at Nichibei Kaiwa Gakuin 17

■JLI's Objectives 17
■JLI's Programs and Courses 17
■Main Features of the Regular Program 17

Program Overview 18-20

■Terms 18
■Levels 18
■Class Contents 19
■Where the Students Come From 20
■Client Corporations and Organizations 20

Application Information 21-27

■Eligibility for Admission 21
■How to Select a Course 21
■Application Period 21
■Application Procedures
●2-year General Course 22
●Short-term Course 26
■Tuition / Fees 27

Student Life 29

■Extracurricular Activities 29
■Living Expenses 29
■Medical Consultation 29

Other Programs 30

日米会話学院 日本語研修所について

日米会話学院 日本語研修所は1967年9月、成人外国人が日本語を習得する場として設立されました。以来、世界90か国・地域から7,000人を超える人々が当研修所で日本語を学んでいます。

■日本語研修所の目的

●一般、ビジネス日本語を習得すること
●日本語の習得を通し、日本文化、日本人への理解を深めること
●日本語の習得を通し、文化の異なる受講生に対し、相互に理解を深める機会を提供すること

■日本語研修所のプログラム・コース構成

以下の3つのプログラムがあります。この案内書でご紹介する「レギュラープログラム」は、受講者の査証(ビザ)や履修期間により、以下の2つのコースに分かれています。

・一般2年コース：留学ビザを取得し、1年～2年間、日本語を学びます。
・短期コース：学期(3か月)ごとに履修します。

プログラム	コース	授業回数／週	授業時間帯
レギュラープログラム	一般2年コース（留学ビザ取得者が対象）	週5日(月～金)	9:00～12:20
	短期コース		
パートタイムプログラム	早朝コース	週1～2回	7:30～8:30
	午前コース	週2回	1.5時間
	夜間コース	週2回	19:00～20:30
		週1回	19:00～21:00
	土曜コース	土曜	2～3時間
プライベートレッスン		随時設定	

※プライベートレッスンはhttps://www.nichibei.ac.jp/njli/program/private.htmlをご参照ください。

■レギュラープログラムの特色

●対象者：ビジネスパーソン、企業研修生、駐在員の家族、日本人の配偶者、日本文化の学習者など成人外国人が対象です。
●受講生の出身地域：欧米、東アジア、その他地域で3分の1ずつと1つの地域にかたよらず、バランスのとれた構成となっています。
●授業内容：1)会話などコミュニケーション能力の習得に重点を置くとともに、「読む」「書く」の技能もバランスよく伸ばします。
2)日本でのマナーやエチケット、文化や習慣等の知識もあわせて学習します。
3)授業は日本語で、各種の視聴覚教材を活用して行います。

プログラム概要

コース	一般2年コース（留学ビザ）
	短期コース（その他のビザ）　※学期ごとに履修できます。
学期	年4学期制（1学期／3か月／10週間）
入学時期	春学期（4月）、夏学期（7月）、秋学期（10月）、冬学期（1月） ※どの学期からでも入学できます。
レベル	初級1から上級2まで8レベルがあり、各レベルの履修期間は1学期（10週間）です。
授業日	週5日（月曜日～金曜日）
授業時間	9:00a.m.～12:20p.m.
	1日4時限、週20時限（1時限45分）
定員	140名（1クラスあたり最大14名）

■学期

春学期			学期休み	夏学期			学期休み	秋学期			学期休み	冬学期			学期休み
4月	5月	6月		7月	8月	9月		10月	11月	12月		1月	2月	3月	

※土曜日、日曜日、祝祭日は休みです。
※春学期にゴールデンウィーク休み、夏学期に夏休みがあります。
※学期と学期の間には学期休みがあります。

■レベル

初級1 初級2 初級3	初級では、日常生活に必要な最低限のコミュニケーションから、簡単な用件のやりとりができるまでの日本語力を身につけます。
中級1 中級2 中級3	中級では、ビジネスや生活に必要なコミュニケーション能力を身につけます。
上級1 上級2	上級では、日本企業にも就職可能なレベルの日本語力を習得します。

新入生クラス分けテスト

●日本語学習歴のある方には、レベルチェックテストとインタビューを行い、適切なレベルのクラスを決定します。

●日本語学習歴のない方は、初級1からの履修となるので、テストを受ける必要はありません。

レベルの修了

レベルの修了は出席状況、クラス評価、期末テストの結果を総合的に判断し、決定します。

■授業内容

初級：初級では、日常生活に必要な最低限の日本語コミュニケーション能力から、簡単な用件のやりとりができるまでの日本語力を身につけます。

レベル	到達目標と学習内容	主要教材	習得語彙の目安
初級1	【到達目標】 初対面や訪問のあいさつ、買い物、電話の簡単な受け答え等、基本的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。 【学習内容】 1.口頭練習を徹底的に行い、日本語の音に慣れ、日常生活に必要な基本文型・語彙を習得します。 2.ひらがな・カタカナで簡単な文章を書きます。また、漢字を100字程度学習して、平易な文章を読みます。	『NIHONGO EXPRESS Basic 1』(初級1〜2)	1,800語程度
初級2	【到達目標】 病院、タクシー、ホテルの予約等の場面で基本的な用件を相手に伝えられるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 【学習内容】 1.短い会話の練習を通して、使用頻度の高い重要文型・表現を習得します。 2.漢字を120字程度学習し、漢字かな交じり文の読み練習と作文、および作文の口頭発表をします。		
初級3	【到達目標】 日常生活の場面で、簡単な用件のやりとりができるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 【学習内容】 1.ビジネスを含む日常のさまざまな場面を想定した会話の練習を通して、各場面に適した重要文型を定着させ、語彙を増やし、表現力を身につけます。 2.漢字を130字程度練習するとともに、読解の練習も行います。	『NIHONGO EXPRESS Basic 2』(初級2〜3)	

中・上級：中級では、ビジネスや生活に必要な日本語コミュニケーション能力を身につけ、上級では、日本企業にも就職可能なレベルの日本語力を習得します。

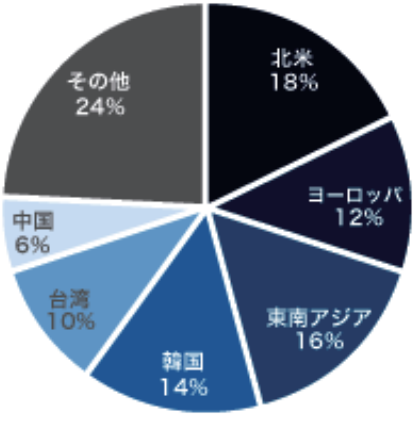
（中・上級ではさまざまな場面・状況設定で学習していくため、到達目標と学習内容はまとめて記載してあります。）

レベル	到達目標と学習内容	主要教材	習得語彙の目安
中級1 中級2 中級3	【到達目標】 ビジネスの場面における基本的な用件や、日常生活の場面におけるより複雑な用件について、やりとりができるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 【学習内容】 1.「依頼する」、「相手の言ったことを確認する」、「聞き取れなかったことを聞き返す」といった場面で、話し始めてから終わるまでの自然な会話の流れを練習します。 2.敬語を使った会話、面接での受け答えの仕方、履歴書の書き方の練習をします。	『人を動かす！実戦ビジネス日本語会話 中級1・2』	3,600語程度
上級1 上級2	【到達目標】 ビジネスや生活のさまざまな分野、場面において、日本人と円滑にやりとりができるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 【学習内容】 1.社内での業務引継ぎや上司への報告、社外との交渉やトラブル処理などの場面を取り上げ、自分の立場をわきまえた言葉の使い方や態度など、相手に不快感を与えない日本語力を身につけます。 2.「新聞や雑誌を読む」、「ニュースを聞く」、「プレゼンテーションを行う」などの活動を通して、ビジネスパーソンや社会人としての知識・スキルを習得します。	『人を動かす! 実戦ビジネス日本語会話上級』	10,000語程度

※授業内容・教科書等は変更されることがあります。

■受講生の出身地域

1つの地域にかたよらず、バランスのとれた構成となっています。



2018年４月現在

■委託企業・団体

これまで当研修所に日本語研修を委託された主な企業・団体です。（順不同）

サムスングループ（地域専門家研修）
三井物産株式会社
三菱化学株式会社
岡三証券株式会社
稲畑産業株式会社
日本テトラパック株式会社
ソニー株式会社
丸紅オートモーティブ株式会社
日仏貿易株式会社
株式会社QVCジャパン
株式会社三養ホールディングス
大韓通運
森・濱田松本法律事務所
立教大学ウィリアムズ主教記念基金
カトリックイエズス会
カトリック横浜司教区

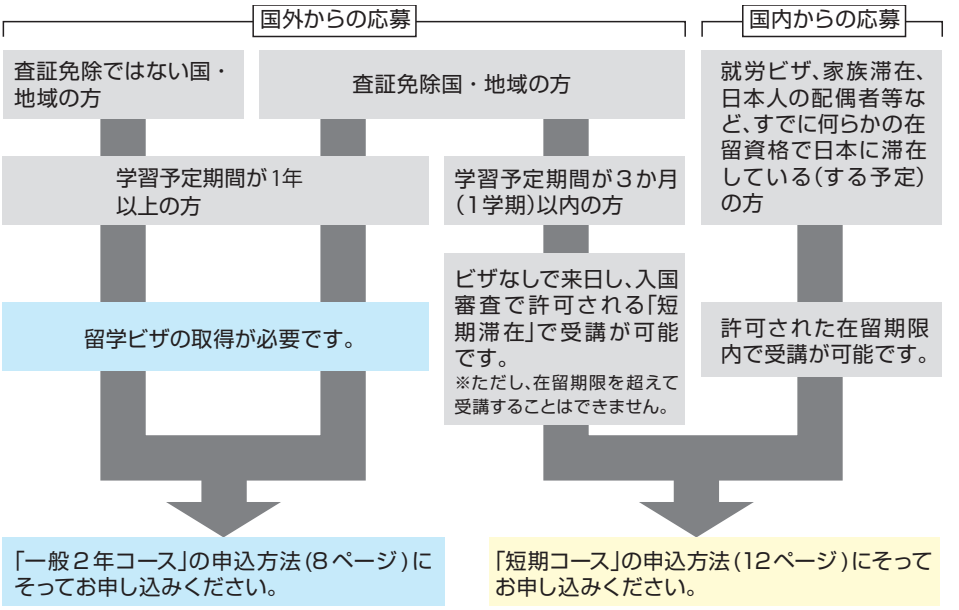
募集要項

■入学資格

1）大学3年以上に在籍、または大学を卒業していること。
2）正当な手続きで入国を許可されている、または許可される見込があること。
3）在日中の経済的保証がされていること。

■コースの選び方

一般2年コース：留学ビザを取得し、１年～2年間、履修される方が対象
短期コース　：学期（3か月）ごとに履修される方が対象
以下を参考にご自分にあてはまるコースを選択し、それぞれの申込方法に従いお申込みください。



■願書受付期間

入学時期	一般2年コース（留学ビザを申請する場合）	短期コース
4月	前年の8月下旬～10月末日	2月上旬～3月中旬
7月	前年の11月下旬～1月末日	5月中旬～6月中旬
10月	2月中旬～4月末日	8月上旬～9月中旬
1月	前年の5月下旬～7月末日	前年の11月上旬～12月中旬

■申込方法

●一般2年コース（留学ビザの申請が必要）

申し込みから入学まで

緑字：応募者側で行う手続です。

8〜6か月前	1.入学願書などの応募書類を願書受付期間内（別添「応募日程表」に記載）に届くように当研修所あてにお送りください。その際、所定の選考料をお支払いください。* ※応募に際しては事前にメールまたは電話にて当研修所までお問い合せください。
5か月前	2.書類選考のうえ、当研修所から応募者あてに選考結果をメールで通知します。
5〜4か月前	3.選考の結果、合格された方については、当研修所が応募者の代理として、東京入国管理局に在留資格認定証明書の交付申請を行います。 4.当研修所からの交付申請を受けて、東京入国管理局が在留資格の審査を行います（審査には3か月程度かかります）。
60〜40日前	5. 東京入国管理局から在留資格認定の審査結果の通知を受け次第、当研修所から応募者あてに結果を通知します。 6. 審査の結果、「在留資格認定証明書」の交付を受けた方については、指定の期日（別途連絡）までに入学金および2学期分の授業料をお支払いください。* 7. 入金確認後、当研修所から「在留資格認定証明書」と「入学許可証」を送付します。 8. 日本国大使館または領事館に「在留資格認定証明書」、「入学許可証」、パスポートを提出して入国査証（ビザ）を申請し、発給を受けてください（ビザは通常、数日で発給されます）。
30〜20日前	9. 指定の期日（別途連絡）までに来日し、新入生レベルチェックテストを受けてください。その際、**在留カード**とパスポートをお持ちください。
授業開始	授業開始日に掲示板でご自分のクラスと教室を確認し、所定の教室にお入りください。

*支払方法については「学費」の項（13ページ）をご参照ください。

応募書類（一般2年コース）

応募書類は以下の2種類です。

1）応募者の経歴、勉学の意思及び能力に関する文書

「応募者の経歴、勉学の意思及び能力に関する文書」1.～10.まですべて提出してください。

2）経費支弁に関する文書

①経費支弁者が応募者本人の場合

「経費支弁に関する文書」1.～5.までを提出してください。

②経費支弁者が応募者本人以外の場合

「経費支弁に関する文書」1.～8.まですべて提出してください。

※書類はすべて日本語または英語のものを提出してください。原本が日本語、英語以外の場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。

1）応募者の経歴、勉学の意思及び能力に関する文書
1. 願書書式 A「入学願書」
2. 願書書式 B「日本語学習目的」 日本語を学ぶ目的とともにコース終了後の進路などを具体的に記載してください。
3. 願書書式 C「日本語学習歴 」
4. 願書書式 D「履歴書 」 過去の出入国歴は期間の長さにかかわらず、必ずすべての記録を記載してください。
5. 最終学歴の「卒業証書」のコピー ●大学卒業者の場合は、最終学歴の「卒業証書」のコピーを提出してください。 ※中国の大学等の卒業者は「卒業証書」のコピーに加えて、「全国高等学校学生信息諮詢職業指導中心（教育部学歴認定中心）」（TEL：北京010-6891-4154）から発行される「学歴認証報告」の原本を提出してください。 ●大学在籍者の場合は、在籍大学の「在学証明書」、「成績証明書」各1通(コピー不可)及び高校の「卒業証書」のコピーを提出してください。
6. 最終学歴の成績証明書 原則としてコピー不可。
7. 日本語能力試験N5（旧4級）相当以上の日本語能力を有することを証明する資料 ●日本語能力試験合格者は「合格証書」のコピー、J. TESTレベル認定者については「認定証」のコピーを提出してください。 ●日本語能力試験合格者、J. TESTレベル認定者以外の方については以下の資料を提出してください。 ■日本語試験の受験歴がある場合は、その合否にかかわらず得点が分かるもの。 ■日本語試験の受験歴がない場合は、日本語教育機関発行の日本語学習証明書（受講時間数が分かるもの）。

8. パスポートのコピー

身分事項(氏名・生年月日等)が記載されているページ、及び出入国歴がある場合は出入国歴を確認できるすべてのページについて提出してください。

※出入国歴が旧パスポートにある場合は、旧パスポートの身分事項のページ、及び出入国歴を確認できるすべてのページも提出。

9. 写真(縦4cm x 横3cm)　3枚

鮮明で無帽・無背景・正面向きの写真を3枚提出してください。うち1枚は願書書式 A「入学願書」に貼付してください。　入管ホームページ； http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/zairyuu/photo_info.html

10. 生年月日、出生地、家族構成などが分かるもの

出生証明書や住民票、家族登録などのコピーを提出してください。

※韓国・台湾の場合は戸籍謄本(コピー不可)、中国の場合は戸口簿のコピー。

2)経費支弁に関する文書

1. 願書書式 E　「誓約書」

経費支弁者(以下、「支弁者」)本人が作成し、署名・捺印してください。

※1年間日本で学習するには学費・生活費等で、日本円で300万円程度の経費が必要となります。

2. 預金残高証明書

複数の銀行口座に預金がある場合は、口座ごとに預金残高証明書(コピー不可)を提出してください。

※疑義が生じるので、1通の預金残高証明書にするために預金を1つの口座に集めることはしないでください。

3. 預金残高証明書で証明された資金を形成するに至った経緯を明らかにする資料

過去3年分の預金通帳のコピー等を提出してください。複数の預金残高証明書を提出する方は証明書ごとに資料を添付してください。

※預金通帳のコピーの場合、入出金を記載したページだけでなく預金者名、金融機関名(通帳発行支店名)、口座番号及び通帳番号について記載のあるページのコピーも提出してください。

4. 支弁者の職業を証明する書類

- 支弁者が企業等に勤務する者の場合は、在職証明書(コピー不可)を提出してください。
- 支弁者が企業等の役員の場合は、法人登記簿謄本(履歴事項全部証明書)(コピー不可)等を提出してください。
- 支弁者が個人経営者の場合は、営業許可書等を提出してください。

5. 過去3年分の納税証明書または課税証明書

年収の記載のあるものに限ります(コピー不可)。

※在日支弁者の場合、市区町村により様式が異なるので、よく確認のうえ、年収の記載のあるものを提出してください。

※在外支弁者の場合、過去3年分の収入証明書も合わせて提出してください。

11ページに続く。

10ページからの続き。

支弁者が応募者本人以外の場合は、さらに以下の書類も合わせて提出してください。

6. 願書書式 F 「経費負担説明書」

経費を支弁するに至った経緯を記載し、支弁者本人が署名・捺印してください。

7. 支弁者と応募者の関係を証明する資料

- ●支弁者が応募者の親兄弟であり、かつ「1）応募者の経歴、勉学の意思及び能力に関する文書」の10.で関係が証明されている場合、提出は不要です。ただし、中国については親族関係公証書等を提出してください。
- ●支弁者が応募者の所属する在外企業である場合は、研修派遣命令書等を、支弁者が応募者を招聘する在日企業である場合は、招聘理由書等を提出してください。

8. 支弁者の家族構成を証明する書類

支弁者が応募者の親兄弟であり、かつ「1）応募者の経歴、勉学の意思及び能力に関する文書」の10.で関係が証明されている場合、提出は不要です。それ以外の方については以下の資料を提出してください。

- ●在外支弁者の場合、支弁者家族全員分の住民票、家族登録などのコピー。
  ※韓国・台湾の場合は戸籍謄本（コピー不可）、中国の場合は戸口簿のコピー。
- ●在日支弁者の場合、支弁者家族全員分の住民票または外国人登録原票記載事項証明書。

注1：証明書類については「証明書発行者の肩書、氏名」及び「発行機関の所在地、電話番号及びFAX番号」の記載のあるものを提出してください。また、可能な限り発行者の署名のあるものを提出してください。

注2：証明書類の発行日付は、選考結果通知日（別添「応募日程表」に記載）からさかのぼって3か月以内のものに限ります。

注3：提出するコピーは原本を直接コピーしたもの（いわゆる一次コピー）に限ります。また、両面コピー等はしないでください。コピーの余白にはコピーを作成した日付、作成者の氏名及び応募者との関係を記載願います（例：コピー作成日　2019年8月1日、作成者　NICHIBEI Kevin、父）。

●短期コース（学期［3か月/10週間］ごとに履修する場合）

申し込みから入学まで

2〜1か月前	1.入学願書などの応募書類を願書提出期間内（別添「応募日程表」に記載）に当研修所へ持参、またはご郵送ください。
30〜20日前	2.書類選考のうえ、応募者に選考結果をメールまたは電話で通知します。 3.日本語学習歴がある方は新入生レベルチェックテストを受けてください。
1週間前	4.指定する期日（別途連絡）までに入学金および授業料をお支払いください。
入金確認後	5.オフィスから入学手続き完了のご連絡をします。
授業開始	6.授業開始日に掲示板でご自分のクラスと教室を確認し、所定の教室にお入りください。

応募書類（短期コース）

1. 願書書式 A「入学願書」
2. 願書書式 B「日本語学習目的 」
3. 願書書式 C「日本語学習歴 」
   （願書書式 A〜Cはすべて日本語または英語で記入してください）
4. 写真（縦4cm x 横3cm） 1枚 （願書書式A「入学願書」に貼付してください）
5. パスポートまたは在留カード（表裏両面）のコピー
   （身分事項（氏名・生年月日等）、在留資格および在留期限の確認をします）

■学費

納入時期	費目	一般2年コース	短期コース
出願時	選考料	30,000円	—
入学時	入学金	40,000円	40,000円
	授業料	2学期分：398,000円	1学期分：199,000円
	施設費	2学期分：5,000円	1学期分：2,500円
開講後	教材費	4,000～10,000円/学期	4,000～10,000円/学期

※一般2年コース
＊2年間の学費合計：**1,682,000円**（教材費別途）
＊授業料と施設費は、入学時に２学期分を納入し、その後も２学期ごとの納入となります。

1. 支払方法について

当研修所の窓口、銀行振込またはオンライン決済にてお支払いください。

支払いは日本円でお願いします。

1）当研修所の窓口

現金またはクレジットカードでお支払いいただけます。

外国通貨、電子マネー、トラベラーズチェック等はお受けできません。

※窓口取扱時間：月～木曜日　9:00 a.m. ～7:30 p.m.
　　金曜日　　9:00 a.m. ～5:00 p.m.

※土日、祝祭日、年末年始は取り扱っておりません。

2）銀行振込

振込先の銀行口座については別途、応募者にご連絡します。

※日本円で振込んでください。

※振込手数料は応募者側でご負担ください。海外から振込をする場合、現地の銀行だけでなく日本側の銀行でも手数料を引かれることがありますのでご注意ください（送金時に現地の銀行にご確認ください）。

3）オンライン決済

オンライン決済（クレジットカード）をご希望の場合はお知らせください。
別途メールでご案内します。

※「VISA」と「Mastercard」のみお取り扱いしております。

2. 納入された学費の返金について

1)一般コース：留学ビザ申請が必要な方の返金規定

- 辞退日の前週の金曜日までに書面またはEメールで申し出てください。
- 納入済の選考料、入学金は返金しません。
- 日本入国前に入学を辞退する場合は、在留資格認定書及び入学許可証の返却を受けてから授業料を全額返金します。ただし、開講日の前週の金曜日17時までに申し出がない場合は、理由を問わず、1学期分の授業料は返金しません。
- 日本入国後は、入学前の辞退でも入学後の中途退学でも、2学期分の授業料は返金しません。
- 3学期目以降の中途退学の場合は、週単位で計算した残授業料から取引手数料（残授業料の20%）を差し引いた金額を返金します。なお、退学日の前週の金曜日17時以降に申し出た場合、退学日の週の分の授業料は残授業料に入りません。
- 銀行送金等で返金の場合、送金手数料はすべて受取人負担とします。
- 法令または研修所規則に違反し、退学処分・除籍処分となった者には、授業料の返金はしません。

2)短期コース：留学ビザ申請が不要な方の返金規定

- 辞退日の前週の金曜日17時までに書面またはEメールで申し出てください。
- 納入済の入学金は返金しません。
- 開講日の前週の金曜日17時までに申し出た場合は、授業料を全額返金します。
- 開講日の前週の金曜日17時以降に申し出た場合は、週単位で計算した残授業料から取消手数料（残授業料の20%）を差引いた金額を返金します。なお、辞退日の前週の金曜日17時以降に申し出た場合、辞退日の週の分の授業料は残授業料に入りません。
- 銀行送金等で返金の場合、送金手数料はすべて受取人負担とします。
- 法令または研修所規則に違反し、退学処分・除籍処分となった者には、授業料の返金はしません。

学生生活

■課外活動

授業で学習した日本語を実際に使ってみる場として、年に数回、アウティングが行われます。近年では美術館、裁判所、ビール工場などに出かけています。また、日米会話学院の英語プログラムで勉強する日本人受講生とパーティーや生け花教室などで交流するチャンスもあります。このような課外活動を通し、日本人の価値観や考え方に触れることもできるでしょう。

◎併設の日米会話学院は社会人を主な対象とした総合的な英語学校です。⇒ http://www.nichibei.ac.jp

■生活費

東京での生活には、学費・住居費とは別に1か月60,000円ぐらいの経費がかかります。来日前に、学費・住居費・生活費等を十分に準備してください。

一般2年コースの受講生は、東京入国管理局からの資格外活動許可を得れば、アルバイトをすることができます。当研修所で申請を取り次ぐので、アルバイトをしたい人は事務所まで申し出てください。ただし、当研修所では、入学後1か月は新しい生活に慣れるためアルバイトを控えるようお勧めしています。

■健康相談

当研修所では、一般2年コースの在籍者を対象に定期的に健康診断を行っています。また、具合が悪くなった人のために学院内にベッドと常備薬を備えています。

※1年以上の在留資格がある方は「国民健康保険」に加入しなければなりません。市区役所で住居地の届出をするときに、同保険に加入してください。なお、加入すると病院での支払が費用の30%となります。

その他のプログラム

日本語研修所では、レギュラープログラムのほかに、外国人ビジネスマンや企業研修生など多忙な社会人が、出勤前や仕事の後、週末を利用して日本語を勉強できるようパートタイムプログラムを設けています。

パートタイムプログラム一覧

早朝コース 週1～2回 7:30～8:30	週1～2回、10週間のプログラムです。初級者から上級者まで目的やレベルにあわせて学習できるよう、さまざまなクラスが用意されています。詳しくは、パートタイムプログラムのパンフレットをご覧ください。 **開講クラス例** ●にほんご会話クラス（初級者向け） ●中級日常会話クラス ●中級ビジネス会話クラス ●実践ビジネス会話クラス（上級者向け） ●テレビニュースクラス（中上級者向け） ●日本語能力試験対策クラス
午前コース 週2回1.5時間	
夜間コース 週2回19:00～20:30 週1回19:00～21:00	
土曜コース 午前2時間～3時間	

開講クラスはコースにより異なります。⇒ https://www.nichibei.ac.jp/njli/program/parttime.html

니치베이 회화학원 일본어연수소 HP（한국어）

→ https://www.nichibei.ac.jp/kjli/

日米会話学院について

併設の日米会話学院（1945年設立）では、英会話から通訳者養成、英語による社会科学・歴史・哲学・芸術コースなど、多様なプログラムを提供しています。→ https://www.nichibei.ac.jp/

About the Japanese Language Institute(JLI) at Nichibei Kaiwa Gakuin

The Japanese Language Institute (JLI), a division of Nichibei Kaiwa Gakuin, was established in September 1967 to provide effective Japanese language education to foreign students. Over 7,000 students from 90 different countries have studied Japanese at JLI since then.

■JLI's Objectives

- To teach Japanese to the general public and to those in the business community
- To help deepen their understanding of the Japanese culture and people through learning Japanese
- To provide opportunities for promoting cross-cultural understanding

■JLI's Programs and Courses

Currently, we have the following 3 programs. The Regular Program is split into 2 courses, depending on the student's type of visa and length of study.

2-year General Course : Upon obtaining a student visa, you study Japanese for a period of 1 year to 2 years.

Short-term Course : You register every term (3 months).

Program	Course	Number of sessions / Week	Class hours
Regular Program	2-year General Course (Those with a student visa)	5 times a week (M-F)	9:00-12:20
	Short-term Course		
Part-time Program	Early Morning Course	1-2 times/Week	7:30-8:30
	Morning Course	Twice a week	1.5 hours
	Evening Course	Twice a week	19:00-20:30
		Once a week	19:00-21:00
	Saturday Course	Saturday	2-3 hours
Private Lessons		Upon request	

※For details on Private Lessons, go to: https://www.nichibei.ac.jp/njli/program/private.html

■Main features of the Regular Program

- **Target audience** : Business persons, corporate trainees, family members of foreign expats, spouses of Japanese citizens, students of Japanese culture, and other adult learners.
- **Where they come from** : We have an even distribution of students from Europe, East Asia and other areas, without a disproportionate representation from any one geographic location.
- **Class contents** : 1) While putting an emphasis on practical communication ability such as conversation skills, we are also keen on developing the students' reading and writing abilities.
  2) You will learn a good combination of Japanese manners, etiquette, culture and customs.
  3) Classes will be conducted in Japanese, utilizing an assortment of audio-visual aids.

Program Overview

Course	Year General Course (student visa)
	Short - term Course (other types of visa) ※You may register by the quarter.
Admission period	Spring Term (April), Summer Term (July), Autumn Term (October), and Winter Term (January) ※You may enroll in any quater.
Level	From Basic 1 to Advanced 2, each level runs the duration of one quater (10 weeks).
Class days	5 days a week (Mon-Fri)
Hours	9:00a.m.～12:20p.m.
	4 class sessions per day, totaling 20 class hours per week (1 class hour = 45 minutes)
Capacity	140 students (14 maximum per class)

Terms

Spring Term			Break	Summer Term			Break	Autumn Term			Break	Winter Term			Break
April	May	June		July	August	September		October	November	December		January	February	March	

※School is closed on Saturdays, Sundays, holidays.
※No classes will be offered during Golden Week in the Spring Term and the summer break in the Summer Term.
※Between quarters there will be inter-quarter breaks.

Levels

Basic 1 / Basic 2 / Basic 3	Basic level focuses on elementary communication skills necessary for day-to-day life, including simple interchange.
Intermediate 1 / Intermediate 2 / Intermediate 3	Intermediate level develops the communication ability required for business and living.
Advanced 1 / Advanced 2	Advanced level works on proficiency for employment at Japanese corporations.

Placement test for new students

- For those who have studied Japanese in the past, we conduct a placement test and an interview, upon which we will determine the appropriate level.
- Those who have never studied Japanese do not have to take the test as they will automatically be assigned to Basic 1.

Completion of a level

We will decide whether a student has completed a given level on the basis of their attendance record, class evaluation and term-end test.

Class Contents

Basic Level : The Basic Level focuses on basic communication skills necessary for day-to-day life, including elementary interchange.

Level	Goals and Study Contents	Main Textbook	Target vocabulary
Basic 1	【Goals】 To acquire basic communication skills for introduction, greeting, shopping, simple phone conversation, etc. 【Study Contents】 1.Emphasis on verbal exercises so as to develop a feel for Japanese intonation. Mastery of basic grammatical structures and vocabulary necessary for day-to-day life. 2.Compose simple sentences using hiragana and katakana. Learn about 100 kanji and read elementary sentences.	NIHONGO EXPRESS Basic 1 (Basic 1&2)	Approx. 1,800 words
Basic 2	【Goals】 To develop the communication ability required to make oneself understood at the basic level at the hospital, when riding a taxi, making a hotel reservation, etc. 【Study Contents】 1.Learn useful sentence patterns and expressions through exercise in short conversations. 2.Master approx. 120 kanji, read and compose sentences mixing kanji and kana, and make oral presentations of compositions.		
Basic 3	【Goals】 To work on communication aptitude to engage in basic conversation in commonplace life situations. 【Study Contents】 1.Engage in imaginary conversations in diverse situations, including business contexts. Master standard sentence patterns suitable for each scenario, build up vocabulary and develop ability to express oneself. 2.Learn approx. 130 kanji, and get exercise in reading.	NIHONGO EXPRESS Basic 2 (Basic 2&3)	

Intermediate & Advanced Level : The Intermediate Level develops the communication ability required for business and living, whereas the Advanced Level works on proficiency for employment at Japanese corporations.

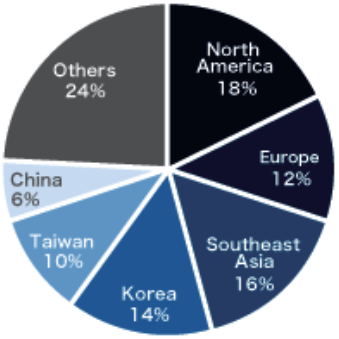
(The respective Goals and Study Contents of the Intermediate and Advanced Levels have been consolidated as they both hypothesize a variety of scenes and situations.)

Level	Goals and Study Contents	Main Textbook	Target vocabulary
Intermediate 1 Intermediate 2 Intermediate 3	【Goals】 To develop communication skills for basic business interchange and more involved day-to-day interaction. 【Study Contents】 1.Work on a natural conversation flow, from beginning to end, in such tasks as 'making a request,' 'confirming what the interlocutor has said,' and 'asking for repetition of the preceding statement.' 2.Get trained in using keigo in conversation, as well as in handling the give-and-take in an interview and drafting a resume.	Hito o Ugokasu! Jissen Business Nihongo Kaiwa Intermediate 1, 2	Approx. 3,600 words
Advanced 1 Advanced 2	【Goals】 To attain communication proficiency to interact smoothly with the Japanese in diverse fields and situations in business and life. 【Study Contents】 1.Acquire an effective Japanese fluency in speech and attitude, flexibly calibrated for different situations and contexts, getting trained in such imaginary situations as taking over somebody's responsibilities at work, making a report to the boss, negotiating with an outside party, and troubleshooting. 2.Master knowledge and skills required for business persons and adults, through such activities as reading newspapers and magazines, listening to news and making presentations.	Hito o Ugokasu! Jissen Business Nihongo Kaiwa, Advanced	Approx. 10,000 words

※Class contents, textbooks, etc., are subject to change.

Where the Students Come From

We have an approximately even distribution of students from Europe - North America, East Asia and other areas, without a disproportionate representation from any one geographic location.



As of April 2018

Client Corporations and Organizations

Here is a partial list of companies and organizations that have used our services.

Mitsui & Co., Ltd.
Mitsubishi Chemical Corporation
Okasan Securities Co., Ltd.
Inabata & Co., Ltd.
Nihon Tetra Pak K.K.
Sony Corporation
Marubeni Automotive Corporation
Nichifutsu Boueki Corporation
QVC Japan, Inc.
SAMYANG HOLDINGS CORPORATION
CJ korea express Corporation
MORI HAMADA & MATSUMOTO
Rikkyo University Williams Foundation
Society of Jesus
Catholic Diocese of Yokohama

Application Information

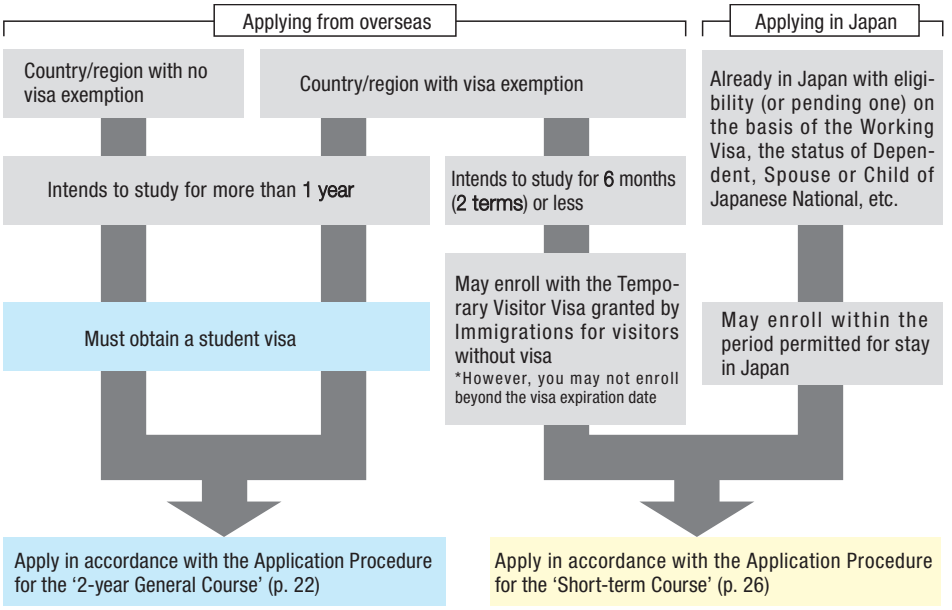
Eligibility for Admission

1) Be a college junior or higher, or have completed an undergraduate degree
2) Have a legal permit to enter the country, or be expecting such a permit
3) Have guaranteed financial resources during the stay in Japan

How to Select a Course

- **2-year General Course** : For those with a student visa who will be enrolled for 1 to 2 years
- **Short-term Course** : For those who will register anew every quarter (3 months)

Review the chart below, select your course, and apply in accordance with the specifi ed procedure.



Application Period

Admission	2-year General Course (If you apply for a student visa)	Short-term Course
April	Late Aug. of preceding year -Last day of Oct.	Early Feb.-Mid Mar.
July	Late Nov. of preceding year -Last day of Jan.	Mid May-Mid Jun.
October	Mid Feb.-Last day of Apr.	Early Aug.-Mid Sep.
January	Late May of preceding year -Last day of July	Early Nov. -Mid Dec. of preceding year

Application Procedures

2-year General Course (Student visa application required)

From Application to Admission

Items in green indicate what the applicant must do.

6-8 months prior to start

1. Make sure to mail us the application materials, including the application form, well in advance so that they will be delivered within the application period (See the attached 'Application Timeline'). When doing so, remit the specific ed selection processing fee*)
※Prior to applying, we recommend that you contact us by email or phone.

5 months prior to start

2. Upon careful consideration and selection, we will notify the applicant the results by e-mail.

4-5 months prior to start

3. For those who have won admittance to our program, JLI will submit, on their be-half, an application for the Certificate of Eligibility to the Tokyo Regional Immigra-tion Bureau.
4. Upon receiving the application, the Tokyo Immigration Office will deliberate the applicant's eligibility (the process will take approximately 3 months).

40-60 days prior to start

5. Upon receiving the results of the deliberation from the Tokyo Regional Immigration Bureau, we will notify the applicant.
6. If you have successfully obtained the Certificate of Eligibility, you will be requested to remit the admission fee and the consolidated tuition for the first two quarters by the specifi ed deadline (to be announced later). *
7. After confirming remittance, JLI will mail you the Certificate of Eligibility and an official Letter of Admission.
8. Submit the Certificate of Eligibility, the Letter of Admission and your passport to the Japanese embassy or Consulate, and apply for a visa (which typically takes several days).

20-30 days prior to start

9. Come to Japan by the appointed date (to be announced later) and take the placement test for new students. Bring your passport and your residence card.

Classes start

Look up your class and classroom on the bulletin board on the first day of class, and proceed to the room.

*For fee remittance procedures, refer to the Tuition section on page 27.

Application Forms (2-year General Course)

Please submit the following two types of documents.

1) Documents concerning the applicant's personal history, academic objective and aptitude
Submit all pertinent documents, # 1 through # 10.

2) Documents concerning the applicant's financial sponsorship
①If the applicant is self-supporting
Submit Documents # 1 through # 5.
②If the applicant is supported by some other person
Submit all pertinent documents, # 1 through # 8.

※All documents must be in either Japanese or English. If the original is in neither language, it must be accompanied by a Japanese or English translation.

1) Documents concerning the applicant's personal history, study objective and aptitude

1. Application Document A: Application for Admission

2. Application Document B: Objective for studying Japanese

State your objective for studying Japanese, as well as your plans after completing the course. Be specific.

3. Application Document C: Personal history of studying Japanese

4. Application Document D: Resume

Regardless of the length of the past stay(s), please make sure to list all information.

5. A copy of the diploma of your most recent degree

- If you are a college graduate, submit a copy of the diploma of your most recent degree.
  ※If you are a graduate of a Chinese college, please submit, in addition to a copy of the diploma, an original of 'The Report of Certification of Educational History 学歴認証報告' issued by The Center for Information Consultation and Employment Guidance for Students of Nationwide Institutions of Higher Education 全国高等学校学生信息諮詢職業指導中心 (The Certification Center of the Department of Education for Educational History 教育部学歴認定中心, TEL:Beijing 010-6891-4154).
- If you are currently enrolled in college, submit one copy each of the certificate of enrollment and the transcripts, as well as a copy of your high school diploma.

6. Transcripts of the last degree earned

As a matter of principle, a copy will not be accepted.

7. A document to certify that your Japanese proficiency is at Level N5 (formerly, Level 4) or higher.

- If you have passed the Japanese Language Proficiency Test, submit a copy of your certificate. If you have earned a certificate of the J. TEST, submit a copy of your certificate.
- If you have neither passed the Japanese Language Proficiency Test nor earned the J. TEST certificate, submit the following documents:
  - If you have taken the Japanese Language Proficiency Test in the past: the score (regardless of whether it was a passing grade or not)
  - If you have never taken the Japanese Language Proficiency Test in the past: a certificate of studying Japanese issued by a Japanese education institution (indicating your cumulative class hours).

8. A copy of your passport

Submit the page that lists your personal information (name, birthday, etc.) and, if you have entered and/or exited Japan in the past, all the pages that record your history of entries and exits.

※If the entry&exit record is on your old passport, submit, in addition, the page in the old passport that lists your personal information and all the pages that record your history of entries and exits.

9. Picture (4cm x 3cm) x 3

Submit 3 pictures of yourself taken clearly without a hat or background scenery, facing front. Attach one of them to your Application Document A, Application for Admission.

Immigration Service HP; http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/zairyuu/photo_info.html

10. Proof of your date of birth, place of birth, family structure, etc.

Submit a copy of either your birth certificate, Certificate of Residence, Family Registry, etc.

※If you are from South Korea or Taiwan: an original Family Register 戸籍謄本 (no copy). If you are from China: a copy of the Residency Record 戸口簿.

2) Documents concerning financial sponsorship

1. Application Document E: A written oath

The financial sponsor (hereafter, the Sponsor) is to draft, sign and affix the registered seal.

※One year of studying in Japan typically costs approximately ¥3 million, including tuition and living expenses.

2. Current balance certificate

If the Sponsor has multiple bank accounts, submit a statement for each account (no copies).

※So as to avoid bank suspicion, we advise against consolidating all your money into one account for the purpose of producing one balance statement.

3. Bank statement

Submit copies of your bankbook, etc, for the past 3 years. If you are submitting statements from multiple bank accounts, make sure to furnish pertinent documents for each account.

※ If you are submitting a copy of a bankbook, make sure to include pages that state, not only deposits and withdrawals, but also your name, the financial institution's name (the branch name), your account number and the bankbook number.

4. Employment certificate

- If the Sponsor is employed with a company or organization, submit a certificate of employment
- If the Sponsor is an executive of a company or organization, submit the Corporate Business Profile(certificate of the entire business history).
- If the Sponsor is the owner of own business, submit a business permit.

5. Tax Payment Certificate or Tax Declaration Certificate for the last 3 years

It must state the annual income (no copy).

※If the Sponsor resides in Japan, double check if the document states the annual income, as the format varies from one city/ward/town/village to another.

※If the Sponsor resides abroad, submit certificates of income for the last 3 years as well.

Continued to p.25.

From p.24.

If the Sponsor is someone other than the applicant, please submit the following documents as well.

6. Application Document F : Letter of Explanation of Financial Support

State how the Sponsor came to financially support the applicant. The Sponsor must sign and affix his or her registered personal seal.

7. Official statement certifying the applicant's relationship to the Sponsor

If the Sponsor is the applicant's parent or sibling and the relationship is already certified in above-mentioned Document 10 under 1)Documents concerning the applicant's personal history, study objective and aptitude, no additional certificate will be required. However, if you are from China, please submit the Family Relationship Certificate, etc (親族関係公証書等). If the Sponsor is the applicant's employer outside Japan, submit an official order for Japanese training. If the Sponsor is a Japan-based company hosting the applicant, submit an official statement regarding such hosting.

8. Official statement certifying the Sponsor's family structure

If the Sponsor is the applicant's parent or sibling and the relationship is already certified in above-mentioned Document 10 under 1)Documents concerning the applicant's personal history, study objective and aptitude, no additional certificate will be required. Otherwise, please submit the following documents.

- If the Sponsor resides outside Japan: A copy of the Certificate of Residence, the Family Registry, etc., for each member of the Sponsor's family.

※ If the Sponsor resides in South Korea or Taiwan, an original Family Register (no copy); if the Sponsor resides in China, a copy of the Residency Record.

- If the Sponsor resides in Japan: The Certificate of Residence or the Foreigner's Certificate of Registered Matters for each member of the Sponsor's family.

Note 1 : Please make sure that each certificate has the issuer's name, title, the institution's address, phone number and fax number. If possible, it should be signed by the issuer.

Note 2 : The certificate must be dated within 3 months of the notification date of the selection results (See attached 'Application Timeline').

Note 3 : A copied document must be the direct copy of the original (i.e., the first-hand copy). It should not be a two-sided copy. In the margin of the copy, write down the date of making the copy, the copier's name and their relationship with the applicant (e.g., Date: Aug 1, 2010; Copier: Kevin Nichibei; Father)

●Short-term Course (To be registered each quarter [3 months/10 weeks])

From Application to Admission

1-2 months prior to start	1. Bring or mail the application package, including the application form, to JLI during the application period (specified in the attached 'Application Timeline').
20-30 days prior to start	2. Upon careful consideration and selection, we will notify the applicant the results either by e-mail or by phone. 3. If you have learned Japanese before, take the level-check test for new students.
1 week prior to start	4. Remit the admission fee and tuition by the specified date (to be announced later).
Upon confirmation of remittance	5. We will notify you of the completion of the admission procedure.
Classes start	6. Look up your class and classroom on the bulletin board on the first day of class, and proceed to the room.

Application package (Short-term Course)

1. Application Document A: Application Form
2. Application Document B: Purpose for Studying Japanese
3. Application Document C: History of Previous Japanese Language Study
   (Fill out Forms A-C in either Japanese or English.)
4. One photograph (4 cm x 3 cm) (Attach it to Application Document A: Application Form.)
5. A copy of either your passport or Residence Card (both sides) (for the purpose of verifying your personal information, including name and birthday, as well as the eligibility and duration of your stay).

Tuition / Fees

Payment Period	Payment Breakdown	2-year General Course	Short-term Course
Upon applying	Selection fee	30,000 yen	—
Upon admission	Admission fee	40,000 yen	40,000 yen
	Tuition fee	For two terms: 398,000 yen	For one term: 199,000 yen
	Facility fee	For two terms: 5,000 yen	For one term: 2,500 yen
After classes start	Material fee	4,000-10,000 yen / term	4,000-10,000 yen / term

※2-year General Course
- ＊Total fee for 2 years: 1,682,000yen (Material fee is not included)
- ＊The tuition and facility fee payment will be made every 2 terms. The first payment will be made upon admission and every 2 terms thereafter. You will be responsible for paying the full tuition and facility fee for 2 terms at this time.

1. Method of payment

You can make a payment at the JLI counter, by bank transfer, or online. Payment must be in Japanese yen.

1) At the JLI counter

We accept cash / credit card, and we do not accept foreign currencies, electronic money, traveler's cheques, etc.

※Hours : Monday-Thursday 9:00 a.m. - 7:30 p.m.
Friday 9:00 a.m. - 5:00 p.m.

※Closed on Saturdays, Sundays, holidays, as well as Year-end and New Year

2) Bank transfer

We will notify the applicant of our bank account for transfer purposes at a later date.

※We accept Japanese yen only.

※The applicant is to bear the cost of transfer. Please note that, in the case of a money transfer from abroad, the receiving Japanese bank may also charge a fee, in addition to the local bank of origin. (Check with your local bank at the time of transfer.)

3) Online

Please let us know for Online payment. We will send you a payment request email.

※ We accept Visa and Master Card Only.

Refund Policy

1.General Course: Those who require a student visa

- If the student wishes to withdraw from the class, a written notice must be submitted to the office by 5pm on the Friday of the previous week.
- The selection fee and admission fee will not be refunded.
- If the student withdraws before entering Japan, full tuition refund will be made upon returning an admission certificate and the Certificate of Eligibility. Without any written notice by 5pm Friday prior to the term start date, tuition for one term (3 months) will not be refunded for any reason.
- After entering Japan, tuition for two terms (6 months) will not be refunded regardless of the timing of withdrawal.
- If the student withdraws after the third term, remaining tuition will be refunded based on a weekly rate after deducting a cancellation fee of 20%. If the student contacts us after 5pm Friday of the previous week of withdrawal date, the tuition for the week will not be refunded.
- The beneficiary is responsible for all fees associated with refund.
- If the student is expelled for breaking Japanese laws or school rules and regulations, the student will not be eligible for a refund.

2. Short-term Course: Those who do not require a student visa

- If the student wishes to withdraw from the class, a written notice must be submitted to the office by 5pm on the Friday of the previous week.
- The admission fee will not be refunded.
- Full tuition refund will be made if the notice is received by 5pm Friday prior to the term start date.
- For withdrawal requests made after 5pm Friday of the previous week of the term start date, remaining tuition will be refunded based on a weekly rate after deducting a cancellation fee of 20%. If the student contacts us after 5pm Friday of the previous week of withdrawal date, the tuition for the week will not be refunded.
- The beneficiary is responsible for all fees associated with refund.
- If the student is expelled for breaking Japanese laws or school rules and regulations, the student will not be eligible for a refund.

Student Life

■Extracurricular Activities

We organize extracurricular activities several times a year so as to provide the students with opportunities to test out the Japanese they have learnt at JLI. In recent years, we have made excursions to museums, court houses, Japanese gardens and a beer factory. In addition, there will be occasions for interacting with Japanese students enrolled at the Nichibei Kaiwa Gakuin through parties and flower arrangement lessons. We encourage our students to get first-hand exposure to Japanese values and ways of thinking.

◎The Nichibei Kaiwa Gakuin, our affiliate, is an all-service English language institution offering English education and training to a mainly working audience.

For more info, go to; http://www.nichibei.ac.jp

■Living expenses

Standard living in Tokyo will cost approximately 60,000 yen/month, on top of tuition and rent. We advise that you make sufficient preparation for managing your monthly expenses for tuition, rent and living costs. Students in the 2-year General Course will be eligible to work part-time if they obtain 'permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted' from the Tokyo Regional Immigration Bureau. If you wish to apply for the permission, you can make the request at JLI. However, we recommend that you not start any part-time job during your first month, as you would need time to get acclimated to the new life here.

■Medical Consultation

JLI offers a periodic medical checkup to students enrolled in the 2-year General Course. In addition, we have a bed and a supply of medicine for emergencies.

※If you are eligible to stay for a year or longer, you must take out the National Health Insurance. You can enroll in the insurance policy when you visit the city office for **residence** registration. Once enrolled, your co-pay will be 30%.

Other Programs

In addition to the regular programs, JLI offers a slew of part-time programs to accommodate foreign business persons and company trainees so they may fit in lessons in the early morning hours, after work and/or on the weekends.

List of Part-time Programs

Early Morning Course 1-2 times/Week 7:30-8:30	These are 10-week programs, meeting once or twice a week. A diversity of classes has been designed to meet the various objectives and proficiencies of the students, from beginners to advanced learners. For detail, please refer to the pamphlet for part-time programs. **Samples of classes** ● Basic conversation class (for beginners) ● Intermediate practical conversation class ● Intermediate business conversation class ● Practical business conversation class (for advanced learners) ● TV News class (for intermediate and advanced learners) ● Japanese Language Proficiency Test class
Morning Course Twice a week 1.5hours	
Evening Course Twice a week 19:00-20:30 Once a week 19:00-21:00	
Saturday Course 2-3 hours in the morning	

Classes vary according to the course. For more detail, go to:
⇒ https://www.nichibei.ac.jp/jli/program/parttime.html

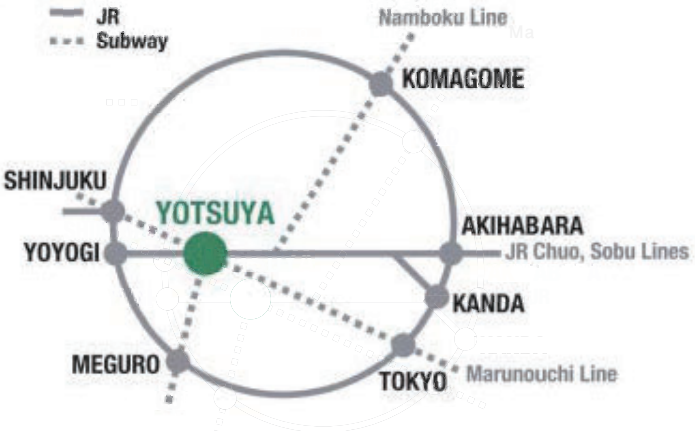
니치베이 회화학원 일본어연수소 HP (한국어)

→https://www.nichibei.ac.jp/kjli/

About Nichibei Kaiwa Gakukin

Nichibei Kaiwa Gakuin, founded in 1945, with which JLI is affiliated, provides a large variety of English programs from English conversation to interpreter training as well as content-driven courses such as international politics history, philosophy and arts.

JR中央線・総武線／東京メトロ丸ノ内線・南北線
Japan Railways (JR) Chuo, Sobu Lines / Subway Marunouchi, Nanboku Lines



四ツ谷駅下車 徒歩5分
5-minute walk from YOTSUYA Station

www.nichibei.ac.jp/jli
jli-info@nichibei.ac.jp

TEL 03-3359-9600　FAX 03-3359-3931
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-50
TEL +81-3-3359-9600　FAX +81-3-3359-3931
1-21 Yotsuya,Shinjuku-ku,
Tokyo,Japan 160-0004

日米会話学院　日本語研修所

Nichibei Kaiwa Gakuin / Japanese Language Institute (JLI) since 1967

IEC International Education Center 国際教育事業
財団法人 国際教育振興会 国際交流事業

表紙写真／当学院 草月流生け花教室作品